

令和7年12月備前市教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和7年12月18日(木)
開会 午前9時30分 閉会 午前11時23分

2 開催場所 備前市役所4階 会議室

3 会議区分 定例会

4 出席委員等	議席番号	職 名	氏 名	出欠
		教 育 長	小 郷 康 弘	出
	1	委 員	田 中 道 生	出
	2	委 員	立 花 朗	出
	3	委 員	原 田 千 暁	出
	4	委 員	鷺 尾 政 幸	出

5 出席者	職 名	氏 名	出欠
	教育振興部長	久 保 山 仁 也	出
	教育総務課長	行 正 英 仁	出
	教育政策課長	春 森 弘 晃	出
	学校教育課長	柴 田 洋 輔	出
	幼児教育課長	文 田 栄 美	出
	生涯学習部長	杉 田 和 也	出
	生涯学習部参与	大 森 康 晴	出
	文化スポーツ振興課長	杉 山 麻 里	出
	生涯学習課長	川 淵 裕 之	出
	美術館活動課長(総務担当課長)	片 岡 英 史	出
	図書館活動課長	祇 園 進 太 郎	出

6 付議事件 議案等付議事項のとおり

7 会議状況 議事録のとおり 傍聴人 あり 非公開 あり

8 署名委員 1 番 田 中 道 生

9 書 記 教育総務課課長代理 川崎 誠

議 案 等 付 議 事 項

区 分	案 件 名
議案第 41 号	備前市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について
議案第 42 号	令和7年度備前市教育関係補正予算の提出について
議案第 60 号	教職員の人事異動について
議案第 61 号	国際バカロレア教育候補校の取下手続きの完了について
議案第 62 号	ALT(活用状況調査結果等)について
議案第 63 号	学校の現状報告
議案第 64 号	市内公立小学校教諭の逮捕事案について
議案第 65 号	ALTの状況について

教育長 それでは、定例会を開会いたします。

只今の委員の出席は私を含めて5名であります。

定足数に達しておりますので、令和7年12月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

本日の教育委員会会議に傍聴を希望されている方がおられます。

備前市教育委員会会議規則第15条の規定により、会議は公開することになっており、教育長の許可を持って傍聴を認めることといたします。

なお、議事、発言内容にかかる委員会の協議は、申し合わせに沿って行います。

それでは、傍聴人の入室及び会議の傍聴を許可いたします。

委員並びに出席職員それから傍聴人に申し上げます。教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人団体情報を公開することにより個人の権利利害を害する恐れのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあつては、委員会の議決をもって非公開といたします。

非公開審議の事例はかなり煩雑にありますので、あらかじめご承知おきます。

委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議案内容や発言内容に関する指摘は、あらかじめ分かる場合は教育長から発議し、そうでない場合は、発言途中であっても委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど、所要の手続きを行いたいと思います。

なお、会議を非公開とする旨の議決があつた場合、休憩中の委員会協議などの場合は、傍聴人は職員の案内に従い速やかに退出していただきますようお願い申し上げます。

非公開審議または休憩中の委員会協議が終了し次第、改めて入室を認め、ご案内いたします。

以上、よろしく申し上げます。

それでは、議事に先立ちまして、11月定例会以降の主な教育政務について申し上げます。

11月23日、MOA美術館東備児童作品展の表彰式に出席し、表彰状の授与をいたしました。子どもたちの純粋な思いそのままに描かれた絵に感銘を受けた次第です。同日、BIZEN音楽祭に参加し、市民グループの皆様の歌声と演奏を鑑賞させていただきました。

11月29日、備前市美術館展覧会の表彰式に出席し、教育長賞を授与いたしました。

12月1日、備前三石ライオンズクラブ様からお米をご寄贈いただき、三石小学校で開かれた贈呈式に出席いたしました。これは、三石地区で取り組まれている耕作放棄地を活用し、無肥料、無農薬により育てられたお米180キロを学校給食用にご寄付いただいたもので、市内全ての小中学校の給食に使わせていただいております。

12月3日、備前市議会定例会が開会し、これまでの間、教育政務の報告や一般質問に対する答弁を行っております。

12月6日、備前市人権教育・啓発研修会に出席いたしました。人権啓発標語の表彰式及び講演会が開催されたほか、人権教育セミナーの修了式が行われ、修了者に修了証を授与いたしました。

12月12日、伊部地区と諸団体との交流懇談会に市長とともに参加いたしました。

また、この間にも個々に各小中学校や関係施設を訪れ、学校長や学校関係者との協議、子どもたちの様子の確認などを行ってまいりました。

以上で、教育政務の報告を終わります。

それでは、議事に入ります。

まず1番、前回定例会会議録の承認ですが、令和7年11月定例会及び臨時会の議事録について、委員の皆様で何かお気づきの点はございませんか。

(発言なし)

それではないようですので、令和7年11月定例会及び臨時会の会議録について承認することといたします。

次に、2番、署名委員の決定ですが、今回は1番、田中委員にお願いをいたします。

教育委員 はい。

教育長 次に、3番、議案等付議事項のうち、議案第42号令和7年度備前市教育関係補正予算の提出については、会議規則第15条第5号の規定に基づき、次回の議決を経るべき議案の原案に該当するものでございます。また、報告第64号、市内公立小学校教諭の逮捕事案について及び報告第65号ALTの状況については、会議規則第15条第6号の規定に基づき、会議を公開することにより教育行政の公正または円滑な運営に著しい支障を生ずる恐れのある事項に該当するものとして非公開となるよう発議いたします。

このことに賛成の委員は挙手願います。

(教育委員全員挙手)

全会一致により非公開と決定しました。

なお、非公開部分の審議となった各議案などについては、本日程の最後に審議することといたします。

それでは、3番、議案等付議事項のうち、議案第41号、備前市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について、事務局から説明願います。

学校教育課長 それでは、1ページから2ページをご覧ください。

備前市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について説明をさせていただきます。

本規則は、本市が住民基本台帳法第22条から第24条の2までに示されている就学対象児童生徒の保護者には、転入、転職、転居の届けを受けた際、教育委員会事務局に代わり、市民課や各総合支所が学校長へ就学に必要な情報についての通知を補助執行することを定めたものです。

しかしながら、学校教育法施行令第5条には、学齢児童生徒の住所変更による就学通知は保護者に対し行うこととしており、この度の基幹系業務システム入れ替えに合わせて規則の改正を図るものです。以上でございます。

教育長 議案第41号についての説明が終わりました。何かご意見、ご質問はございま

せんでしょうか。

学校長を保護者に改めるということでございます。委員の皆様、特にないようでございますので、議案第 41 号については承認をさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議等なし)

異議がないようですので、第 41 号については承認することといたします。

次に、報告第 60 号、教職員の人事異動について事務局から説明願います。

学校教育課長 それでは、5 ページをご覧ください。

小中学校の県費教職員で人事異動がございましたので、報告いたします。

内容については 6 ページのとおりとなっております。以上でございます。

教育長 委員の皆様から何かご質問等ございますでしょうか。

(異議等なし)

ご意見ございませんでしょうか。

それでは、報告第 60 号については以上とさせていただきます。

次に、報告第 61 号、国際バカロレア教育候補校の取下手続きの完了について、事務局から説明願います。

教育政策課長 報告第 61 号、国際バカロレア教育候補校の取下手続きの完了についてですが、12 月入りましてから、学校長のサインをいただいたものを IB0 にお送りする形で取下げ手続きの完了をいたしました。以上になります。

教育長 手続きが終わったということです。委員の皆様から何かご意見、ご質問いかがでしょうか。

(異議等なし)

よろしいでしょうか。

次に、報告第 62 号、ALT (活用状況調査結果等) について事務局から説明願います。

教育政策課長 それでは、議案と報告第 62 号 ALT の活用状況調査結果等について報告させていただきます。

その前に、1 点、別の報告の方をさせていただきます。昨日 12 月 17 日、裁判の関係の訴状が届きました。こちらの方、訴訟の額につきましては、6 億 6538 万 8900 円となっております。こちらについては、訴状が届きましたが、本市の主張は裁判の中で明らかにしてまいりますので、詳細につきましては、本日ご説明、お答えできないことをご理解ください。

次に、今回配布しております第 2 回 ALT 活用状況調査結果概要の報告になります。5 段階で回答してもらったものになりますが、小中学校、園のものも基本的には同様の趣旨のものが 1 番から 6 番までの質問の方に記載されております。1 番については、業務をどの程度行っているかという質問です。2 番目が、1 の業務で ALT がどの程度機能しているかという質問になっております。3 番、4 番のところで、ALT の希望人数の把握調査をしておりますが、希望人数では、小学校につきましては、平均になりますが、小学校 3 人、中学校 2.8 人となっております。こども園につきましては、こちらの方、逆に、園の人数じゃなくて、専任でいるか、兼任でいいという見解の確認をして、専任で

4園、兼任で5園という回答をいただいております。5番が、従来と比較して、現在の英語学習や国際理解に関する子どもの変化になります。

6番目が自由記述になっております。こちらの詳細の部分で、細かい部分、先生方の思いとか聞かれるのであれば担当官の回答になったりするとは思いますが、今、現状としてはこういった調査が出ておりますという報告になります。私の方からは以上になります。

教育長 説明がございました。改めてになると思いますけど、小、中、こども園のこの結果をご覧になっていただく時間を取ります。

それでは、こういう調査結果でございましたけれども、ご自由にご質問やご意見を言っていたらと思います。まず、この小、中学校の方で、何かお気づきの点とか、何かご質問とかなんでも結構です。どなたでもお願いします。

教育委員 人数のバランスの件ですけど、初見なのでよくわからないですけど、希望人数が小学校3人、中学校2.8人と平均が出ていますよね。これ、学校によって大きな格差はありますか。5人とか希望人数が多いとこと少ないとこ、差はどんなものでしょうか。

教育政策課長 あの、平均って書いてあるとおりですね。小学校なんかもっと多い学校も当然ございますし、あくまでもその全体的な平均として書いていますので、全部が同じぐらいの3という数字なわけではないです。

教育委員 多いところには多いところの必要性が感じられますかね。

教育政策課長 今回のALTさんについては、その優秀な方々が多いというのは事実だと思っておりますので、そういった方々を必要としているのであれば、おっていただいてもいいなという思いがある学校も多いですし、当然小学校とかは英語の時間数も少ない関係で、少なくともいいんじゃないかという思いを持たれている校長先生もおられますので、そういった部分が平均になりますので、おっしゃっている部分としては、その学校についてはたくさんおられてもいいのかなと思っております。以上です。

教育委員 今後、その学校に対しての配置人数ですよ。その割り振り等は考えられていますか、来年度に向かってですけど。

教育政策課長 色々想定としてはしておりますが、現状では持ち合わせていない形になります。

教育長 補足いたしますと、やはり人数が多い学校と、人数の本当少ない学校の希望人数をざっくり見ると、やはり人数が多いところは人数の多めのリクエストが、小さいところはやはりちょっと多すぎるかなということで、少ない、そんなイメージでした。

教育委員 わかりました。

教育長 その他なんでも結構です。

教育委員 うまくまとまりませんが、この回答をしてくださったのは担当の先生か校長先生かということ。ちょっと聞き逃したのでごめんなさい。もう一度教えていただきたいことと、この業務の内容で、その平均値と言うか小学校も中学校も英語の授業の支援はとてもよく行ってくれている。そして、その6番なんかも、休憩時間、生活の中での

業務もしっかり行ってくれているという風な数字の読み取りをさせていただいたんですけど。生活の中で英語というのはとてもいいことだし、その授業の支援もそれが肝心かなめかなと思います。でも、その授業を行っている先生、英語の授業を行っている先生にとって、この支援の先生の有効性というのはどう思われているのかなと。日本語が日常生活はできると言われましたが、会話はできると何度も聞かせていただきましたが、英語の支援をするところで、その英語の先生とのコンタクトがよくできていって、どこを支援して、困っている程度の支援をどの程度できているのか、その有効性みたいなものはその英語の先生はどの程度に思われているのかなと。もしかしたら、日本人の支援の先生が英語の支援をした方がいいのではないかという風なイメージも受けるんですけど、その辺、ちょっと細かいからその現場のことはわからないかもしれませんが、支援が有効になっているかどうかというのもわかれば教えていただきたいと思うんですけど、わかりますかね。以上です。

教育政策課長 まず、小学校、中学校の違い。学校教育課が把握している情報としては、小学校の方は、割と教室の方へ配置しているので、回答としては、この2番、3番も増えてきたりしているのではないかと。中学校については、英語の授業が当然多いので、そういった観点で回答されている部分が多いのではないかという理解になっております。最初に話されていた部分としての回答は、校長先生経由でもらっているので、例えば、英語の先生に聞いて答えられているか、小学校で言えば、英語専科の先生の回答を求めて書いているか、それぞれの学校ごとで違ってくる部分もございますので、一概には、その統一した基準で、こちらの方が求めて、学校長を通して学校の回答をくださいということを求めているところなので、そのことだけご理解いただけたらと思います。

全体的に、今のところ、いろんな支援との部分については、2番、3番と考える場合が多いような状況が見受けられるのかなと。基本はやはり1番の英語になりますので、求められている部分としては、適切にできているのかなと思っております。以上になります。

教育委員 ありがとうございます。回答しにくいような質問をして申し訳ないなと思って反省はしておりますが、10 ページ目の中学校の最後の「個人支援が必要な生徒にとっては言葉の通じない大人との接触は不安感が増長する」というような項目もあるので、少しそのような点をちょっと聞かせていただきました。

教育長 補足しますと、ALT の日本語能力については、来日直後に比べれば当然日常会話とかある程度はアップしていると思うのですが、普通の日常会話ができるレベルではまだ全体的にはないという認識を持っています。

だから、特に小学校では、その言葉の問題は、日本の先生とのコミュニケーション、それから子供とのコミュニケーション、その2つについては、まだそこまで自由に日本語で会話ができるレベルに達する人は少ないという状況にあります。

その他、もうなんでも結構です。

教育委員 特に意見というわけではないのですが、最後のページの自由記述のところで、小学校の一番上の「ALT は本当に真面目で、一生懸命勤めてくれている」とか、

前向きな記述が多かったところと、先ほどから話されています配置人数のバランス、その辺りは少し課題かなというのと、やっぱりコミュニケーションが取りにくいというか、その辺は日本語対英語なので、その障壁というか、ある程度はある部分だと思うのですが、この ALT さん、どういう導入理由かというところで子供たちに英語が身近に感じられているというのはすごいことだと思いますし、皆さんも感じられていると思うので、あと、こういういろんな問題、そんな大きな問題じゃないんですけど、これを若干修正できたらいいのかなと思います。色々ご苦労かけるとは思いますがよろしく願いいたします。以上です。

教育長 その他意見がございますか。

教育委員 意見なわけではないですが、5 番の「従来と比較し、現在の英語の学習や国際理解に関する子どもの変化は」というところで、全体的に好ましい変化が見られてよかったねという風な結果というのは、ALT を導入した 1 つの結果として好ましいと思っています。

次に持っていく課題としては、この 6 番の自由記載の意見ですね。小学校の一番下の方にある「市と学校で明確な目標や必要性の共通認識を持てていなかった」というところが、その学校独自のやり方という風な部分でもあります、やっぱり目標を 1 つ掲げて、そこへ向かっていけるような体制を構築していくというのが一番必要になってくるのかなと思いますので、次の課題として 1 つこれは必要かなと思いました。私から以上です。

教育長 ありがとうございます。今おっしゃられたところについては、まさに我々の課題で。加えて、あの教育委員にちょっとお尋ねしてもよろしいか。ご家庭の中で、子供さんが英語に関して、保護者の立場から見て、何かお感じになられるようなこととかございますか。

教育委員 そうですね、日常生活の中で、その単語ごとの言葉なんですけど、言ったら世代がバレるのですけど、ルー大柴みたいな言葉を使って、遊び半分喋っている部分もあると思うんですけど、そういう中でも、英語の発音という部分ですかね、結構ネイティブな発音というか、小学校低学年のというぐらい、そんな発音だったり、やっぱりそういう部分ではいい影響を受けているだなというのが見て取れますし、子供たちも、その小学校での会話の中でも、そういう風な英単語を使ったような、言葉遊びとかをやったりするのでもう日常生活の中に英語が当たり前のように溶け込んでいるという風な意識は見て取れますね。こんな感じでよろしいですか。

教育長 ありがとうございます。すいません、無茶振りをしました。保護者の方にお尋ねしたかったところです。

また後からご質問いただいてもいいのですが、今度はこども園の方の結果を見ていただきまして、何かご意見等ございましたら。感想でもう結構です。なんでもご自由にご発言ください。

教育委員 日頃、園を回らせてもらう機会があつて、担任の先生方に ALT の先生との関係はどうですか。という風な質問させていただくことがあるのですが、子供たちはとて

も ALT の先生が好きですと。遊ぶ時も、一緒に遊ぼう、遊ぼうと言って誘っている姿も私は目にします。先生たちもニコニコして遊ばれています。

ALT の先生がイングリッシュタイムというのもしていただきます。各クラスで電子黒板を使ってのイングリッシュタイムをされていますが、難しいことをしているなぁと私はちらっと思うのですが、カリキュラムがあるということ聞かせていただいて、統一的なものを使われているのだということは聞いてはいますが。子供たちがついていけるのかなと思ったのですが、ただその学習を全部獲得しようじゃなくて、遊び感覚の中で子供たちが慣れ親しんでいく、イングリッシュタイムという風に考えれば、そのゲーム感覚に作ってあるそのカリキュラムであって、電子黒板をタッチすると、イエスかノーか、正解かどうかみたいなクイズ形式になっていて、それが浮かんでくるとか、子供はゲームなんか入りやすい、そういう感覚で、その電子黒板と、そのゲームと子供と先生と繋いだイングリッシュタイムは、とても有効的なんじゃないかなという風な反応は、担任の先生からも返ってきています。

生活発表会なんかも、日常の生活の演目を入れるんですけど、その中にも、ALT の先生と一緒に英語の歌を歌ったりもします。ABC の歌なんか、すごい発音も良かったりして、あんな歌、歌えないなと思うような歌を子供たちが歌っていました。

ワン、ツー、スリーとかの数字を数えることができますとか、年齢によりますけど、歌うことが好きですとかで、割と ALT の先生も溶け込んでいるし、英語ということも子どもたちの中に馴染んでいるということがとてもこども園の中では有効なのかなということを感じてはいます。

しかし、園、園でどう ALT の先生を受け入れている雰囲気を作っているかはちょっと差があって、ちょっと疎外感、日本語を話す職員の中に 1 人、英語で日本語がままならない、理解できないというところの疎外感を感じているところもあるという先生もいらっしゃる。それから、給食なんか食べる時に ALT の先生を囲んで、これはなんていうのかな、日本語ではこうよ、英語ではこうかなという風なことを話しながら、ざっくばらんに先生同士が交流をしているという面もあったりして、その受け入れ方の差で、またこれも、ALT の先生の活躍の仕方も、生活を安定して、その ALT の先生が過ごせるという環境も違ってくるのかなということを感じさせていただいています。以上です。感じたままです。

教育長 ありがとうございます。続けて、他の委員の皆様から、こども園の方についてご質問等はありませんでしょうか。

教育委員 感想なのですが、こども園に孫が通っているのですが、やっぱり吸収がすごいですよね。小さい子は英語に対しての。ちょっと特殊なのかもしれませんが、日本語で 1 から 10 言ったらよう言わないですけど、英語では言うんですよ。すごく感化されて、ご飯の美味しいというのもラミと言ったり。やっぱり小さい子の方が影響も大きくて、楽しく英語を学んでいる、そんな感じがします。

それで、商工会でフリーマーケットみたいなイベントをしたんですけどね、ハロウィンイベントということで、園長先生と ALT の先生 2 人来ていただいて、ALT の先生がハ

ロウインの踊りを踊って、地区の人と一緒に踊って見せてくれたり、こっちもサービスのつもりで握りずしがあつたのでつたない英語で「DO YOU LIKE SUSHI?」と言ったら、全然日本語がわからないのですが、それだったらオッケーオッケーと食べていただいて、結構みんな地区の人にだんだんと慣れていっているかなという状況じゃないかと思います。今後も、そういうイベントがあつたらどんどん参加していただけたらいいと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。その他ご意見ご質問ございませんでしょうか。

教育委員 小学校、中学校に比べて、こども園は平均の数字も高いかなという印象です。3歳未満の園児とか、子供は多分興味津々でいくと思うので、先ほど教育委員もおっしゃいましたが、吸収がものすごく早いのかなという印象を受けます。本当に小さい頃から英語に親しんでいるという話なので。先ほどから言われている配置について、バランスがわからないので、その辺は精査して、適正な配置を説明していただけたらなと。特に意見ではなく感想です。

教育長 その他いかがでしょうか。

教育委員 あくまでも私の感想です。やはり好ましい変化が見られたという結果が出ていることと、あと、「子供たちはALTを身近で安心できる存在として受け入れている」ということで子供にもやっぱりいい影響を及ぼしているかなというのが見て取れました。

うちも似たような部分もあるのですが、朝の挨拶や英語の歌など、ALTとのやり取りの中で聞いた英語を真似て使う姿が見られる。覚えた英語を使ったり、自分を意識して使うようになってきている。これってものすごくいいことだと思うんです。先ほど委員も言われたように吸収が早かったり、なんでも吸収するスポンジのような状態なので、こういう時期から早くから英語という言葉や発音を覚えさせていく、日常生活の中に取り入れていくというのが一番これからも英語教育の中で重要になってくるかなと思いますので、引き続きこれを続けていければと。私の個人的な希望です。

あと、最後のこの授業に関する意見の感想の中で、同じ小、中学校と同じ意見があるので、きちっと園で共通理解をすべくレッスンの内容など伝えてほしいという、共通認識を課題として進めていただければと思います。以上です。

教育長 ありがとうございます。確かに課題としては、ALTの先生が入ったことによって、やはり子供の変化は見られてきています。全体的に見ると。ただ、課題としたら、その受け入れ体制ということであるとか、それから人数について、効果はあるのだけれど、総じて言うと、小中にしても。こども園にしてもちょっと人数は多いのかなというような感想を多くの学校、園が思っていると。効果のことと配置人数のその辺りのところ、あと受け入れ体制、そういったことで、今回の導入にあたっては結果としてかなり学校園任せになったのではないかというところは反省点としてある程度捉えているところであります。

今頂戴した意見とかも踏まえて、今後対応を考えてまいりたいと思います。それでは、この報告については以上とさせていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、報告第 63 号、学校の現状報告について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長 13 ページをご覧ください。感染症による学校の学級閉鎖等にかかる報告をさせていただきます。口頭での報告となります。資料はございません。理由は、インフルエンザの発生によるものです。前回の教育委員会会議定例会以降、12 月 17 日、昨日までの状況ですが、小中学校におきましては、4 校で学級閉鎖、3 校で学年閉鎖、1 校で学校閉鎖を行いました。岡山県においても、10 月 30 日にインフルエンザ注意報、11 月 28 日にインフルエンザ警報が発令され、学校でも予防や対策等注意喚起を行いました。今後も、毎日の健康観察を注意深く行い、感染拡大の防止に努めてまいりたいと思います。学校教育課からは以上です。

教育長 こども園の関係で幼児教育課をお願いします。

幼児教育課長 園の方の状況についてもここでお知らせさせていただきます。インフルエンザの感染状況につきましては、園の方でも 11 月末がピークでした。園の方では学級閉鎖にまでは至っておりません。12 月に入ってから落ち着いたところですが、すけれども、学校と同様に、11 月 28 日に県のインフルエンザ警報が発令されたことによりまして、インフルエンザや、新型コロナウイルスの感染症をはじめとする感染症について予防と対策を講じるよう各園に通知しております。

生活発表会の時期ではあったのですが、各園において適切に感染対策を講じた上で発表会は実施できております。今後も、学校と同じように毎日の健康観察を注意深く行いまして、感染拡大の防止に努めてまいりたいと思っております。以上です。

教育長 委員の皆様から何かご質問等ございませんでしょうか。

一応、参考として申し上げますけれども、学校の方はいわゆる学校閉鎖とかそういう学校としての措置を行うのですけれども、認定こども園の場合は、基本的に保育が必要な子どもさんを受け入れる関係から、いわゆるそういう園閉鎖というようなことは対応を行っておりません。ここは大変大きいこども園と小中学校の違いというようになります。一応参考までにお伝えをさせていただきました。

それでは、次に参ります。続いて、議事 4 番、次回の教育委員会会議についてですが、事務局案を説明願います。

教育総務課長 次回、1 月の定例会につきましては、1 月 22 日木曜日午前 9 時 30 分から開催すること、提案いたします。場所は、市役所 3 階大会議室を予定しております。以上となります。

教育長 事務局から提案がありましたけれども、皆様、現段階でご都合の方、いかがでしょうか。よろしいですか。

教育委員 ご予定はいかがでしょうか。

教育長 まずこれで行かしていただいて、ご調整が難しいこともあるかはわかりません。また、後日いただけますか。

教育委員 承知しました。

教育長 それでは、今の提案のとおり、1 月 22 日木曜日の午前 9 時 30 分から、場所

は、3階大会議室でということでご予定をお願いいたします。補足として、この教育委員会会議、今日のように、この後、市長主催の総合教育会議が連動してある予定になっています。

次に、5番、1月の行事予定について事務局から説明をお願いします。

事務局 1月の行事予定についてお伝えします。

12月24日が各学校園の終業式となっております。

1月に入りまして、1月7日が小中学校の始業式、1月8日が認定こども園の始業式となっております。

その他、1月11日に20歳の集い、昔で言う成人式を市民センターで執り行うこととなっております。以上です。

教育長 行事の関係で、その他各課からございませんでしょうか。

それでは、3番、その他に移ります。各委員さん又は各課から願いをします。

図書館活動課長 図書館活動課から報告を1点させていただきます。図書館建設に関する住民監査請求についてです。今朝の新聞報道等でご存じの方もおられるかもしれませんが、12月17日、昨日に住民監査請求が提出され、監査委員事務局で受け付けられました。

概要は、図書館建設用地取得及び地中障害物撤去に関する支出について、手続きの不備等があるとして監査請求されています。

現在は監査委員において請求内容を確認中であり、今後の対応について詳細は決まっておりません。そして、この図書館については、12月定例議会でも一般質問がありましたので、その関連する概要も報告させていただきます。

図書館用地の基礎工事等を行うために地中を掘削したところ、大量の産業廃棄物が見つかりました。このことで地中障害物の撤去処分作業が必要となり、変更工事として今年6月に約9400万円増の変更契約を行っております。この内容について、土地の元所有者に処分を請求すべきとの質問がありましたが、不動産売買契約に地下埋設物に関する特約事項がないことや、当時は駐車場整備用地として買収していることなどから、元所有者への請求は困難と判断したことをお答えしております。

また、地中障害物の種類や数量等についての質問がありましたが、処分後の数量を基に変更契約を行い、処分証明となるマニフェストとも一致することをお答えしております。

今回、このような監査請求で、委員の皆様にはご心配をおかけし、申し訳ございません。監査請求が正式に受理されましたら、厳正に対処してまいります。以上で報告を終わります。

教育長 今の報告の件について何かございましたら。請求がなされたという報告でございました。

文化スポーツ振興課長 文化スポーツ振興課より第12回備前市文学賞について報告いたします。資料といたしましては、お手元に第12回備前市文学賞について（令和8年1月号広報より）というチラシをお配りしております。9月30日を締めとしておりま

した備前市文学賞について、今年度の受賞者が決まり、来年1月10日に表彰式を行うことになりました。概要は資料のとおりになりますが、今年度は応募作品が少なく、来年度以降、周知の方法と工夫が必要であると感じているところでございます。以上です。

教育長 その他、報告はありますでしょうか。

生涯学習部参与 それでは、私から2点報告をさせていただきます。本年7月に開館しました備前市美術館に寄付された金品について、2点報告をさせていただきます。

1点目は、ピアノです。まず、経緯についてご説明いたします。本年8月、すでに亡くなられている著名な音楽家の遺品を管理する方から、同音楽家の楽器、ピアノを寄付したいと備前市文化芸術振興財団へ申し入れがありました。遺品を管理する方は、ピアノを保管するアトリエを整理し、早期に退去を急がれているため、取り急ぎ本年10月にピアノの輸送を備前市美術館に行いました。ピアノは、世界三大ピアノの1つ、オーストリアのベーゼンドルファーと言われるピアノで、長く使用された古いピアノですが、非常に高価なものです。ピアノの寄附受領者は財団であり、移送にかかる費用も財団が負担しています。今後、備前市美術館において文化芸術活動に役立てると聞いております。なお、寄付者並びに音楽家の名前は、寄付手続きが完了していないため、現時点で公表はできませんが、手続きが完了し美術館に展示する際は、来館者にも分かるようにネームプレートを設置し、公表させていただくよう財団と協議いたします。

2点目、日本画です。寄付者は、現在、美術館3階に設置された日本画富士の絵で、寄付者は瀬戸内市在住の日本画家、井手康人様です。寄付の経緯をご説明させていただきますと、当該寄付の申請は、本年2月28日、備前市に寄付者から申し出があり、寄付品の受領は、備前市美術館開館前の本年7月10日、現在の位置に設置されました。本寄付は備前市が寄附受領をしております。寄付者の井手康人様は、これまで数々の展覧会に出品し、多くの賞を受賞されており、今回寄付いただいた作品も非常に価値ある作品であると、有識者の方に評価いただいております。

また、井手康人様は、愛知県立芸術大学教授を務められる傍ら、一般財団法人備前市文化芸術振興財団の理事を務められております。この度、新たな美術館完成を祝い、備前市の芸術文化振興、発展に寄与したいとの思いから、寄付者が所蔵する作品を寄付していただきました。報告が遅くなりました。報告は以上となります。

教育長 美術館の関係、寄付2点についての報告でございました。何かご質問等ございますでしょうか。

美術館活動課長 お手元にお配りしております開館記念特別展浦上コレクション北斎漫画の内覧会のご案内のところからご説明をさせていただきます。年明けの1月10日から3月8日までの期間、開館記念特別展浦上コレクション北斎漫画という展覧会を開催いたします。北斎漫画コレクションにおいては、世界一と称される浦上満氏の厳選された作品200点と、陶磁器9点をご紹介します。

世界の多くの人々を引きつけてやまない北斎の魅力が凝縮された北斎漫画展をぜひ皆様もご覧いただけたらと思います。その展覧会の開催にあたりまして、本日お配りしておりますその内覧会のご案内を委員の皆様にもさせていただきます。展覧会自

体は1月10日からですが、内覧会は1月9日金曜日午後1時から式典の開始とともに内覧会も実施いたします。お時間がありましたらご参加いただきたいと思います。ご案内とともに出欠の参加申込書もつけておりますので、そちらにご記入いただくか、美術館活動課にご報告いただけましたら、出欠の確認をさせていただきます。以上となります。

教育長 その他、何かありませんか。

それでは、これから非公開部分の審議になりますので、傍聴人は退室をお願いします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 ここから 非公開審議 】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 ここまで 非公開審議 】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

それでは、非公開審議は以上といたしまして、以上で12月教育委員会会議定例会を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員 教育長

委 員